

外国語教育学研究科【博士課程前期課程】カリキュラムツリー

●演習科目

●外国語教育学領域

●異文化コミュニケーション学領域

●通訳翻訳学領域

●支援科目
共通科目

●1年制コース
配当科目

DP1 (知識・技能)

外国語教育学、異文化コミュニケーション学、通訳翻訳学の各分野で必要とされる幅広い学際的知識を習得し、これらを統合的に活用することができる。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

外国語運用能力と異文化理解力を身につけ、幅広い学際的知識を活用しながら「考動力」を発揮し、自らの研究・実践成果を広く発信して、社会に貢献することができる。

DP3 (主体的な態度)

自らが関わる環境を主体的に観察・分析して、問題点を究明し、データに基づいた解決策を提案・実行することができる。

●修士論文・課題研究レポート

●CE

●前期課程演習2b
(外国語教育学)
(異文化コミュニケーション学)
(通訳翻訳学)

●前期課程演習2a
(外国語教育学)
(異文化コミュニケーション学)
(通訳翻訳学)

●前期課程演習1a・1b
(外国語教育学)
(異文化コミュニケーション学)
(通訳翻訳学)

【外国語教育学領域】

- 外国語教授方法論1(英語)
- 外国語教授方法論1(中国語)
- 外国語教授方法論2(中国語)
- 外国語教授方法論2(各言語)
- 外国語授業実践1
- 外国語授業実践2
- 外国語教育教材論1(英語)
- 外国語教育教材論1(中国語)
- 外国語教育教材論2(各言語)
- 外国語教材開発1
- 外国語教材開発2
- 外国語教材開発3
- 外国語教育メディア論
- 外国語学習者論
- 外国語能力測定・評価論
- 外国語音声教育論(英語)
- 外国語音声教育論(中国語)
- 外国語音声教育論(各言語)
- ESP教育論
- 小学校英語教育論
- 第二言語習得論1(心理・認知的アプローチ)
- 第二言語習得論2(社会文化的アプローチ)
- 第二言語習得論3(トピックスタディ)
- 言語心理学 1
- 言語心理学 2
- 外国語教育論1(リーディング)
- 外国語教育論2(ライティング)
- 外国語教育論3(オーラル・コミュニケーション)
- 外国語教育論4(ボキャブラリ)
- 外国語教育論5(文法)(英語)
- 外国語教育論5(文法)(中国語)
- 外国語教育論5(文法)(各言語)
- 外国語授業観察
- 日本語教育特別実習
- 外国語分析論 1(英語)
- 外国語分析論 1(中国語)
- 外国語分析論 1(各言語)
- 外国語分析論 2
- 比較語彙論(日中比較)
- 比較語彙論(朝鮮語)
- 比較文法論(日中比較)
- 言語コーパス論
- 言語政策論

【異文化コミュニケーション学領域】

- コミュニケーション論
- コミュニケーション研究(質的研究法)
- コミュニケーション研究(トピックスタディ)
- 異文化コミュニケーション論(教育・心理)
- 異文化コミュニケーション論(比較文化)
- 異文化コミュニケーション論(言語と社会)
- 異文化コミュニケーション研究
- 文化交渉論1(中国)
- 文化交渉論2(中国)
- 文化交渉論3(英国)
- 日本文化特論
- 地域言語文化論1(英米)
- 地域言語文化論1(各地域)
- 地域言語文化論2(各地域)
- 地域言語文化論3(中国)

【通訳翻訳学領域】

- 通訳翻訳教育方法論1
- 通訳翻訳教育方法論2
- 通訳翻訳研究1
- 通訳翻訳研究2
- 通訳翻訳研究3
- 通訳翻訳研究4
- 通訳実践研究1
- 通訳実践研究2
- 翻訳実践研究1
- 翻訳実践研究1(日中)
- 翻訳実践研究2
- 翻訳実践研究3
- 通訳翻訳特殊研究1
- 通訳翻訳特殊研究2

支援科目

- 基礎研究法 1
- 基礎研究法2
- 基礎研究法3
- 基礎研究法4
- アカデミックライティング1(英語)
- アカデミックライティング1(中国語)
- アカデミックライティング1(各言語)
- アカデミックライティング2(英語)
- アカデミックライティング2(各言語)

共通科目

- 特殊講義(各テーマ)

1年制コース

- インディペンデントスタディ(教材開発論)
- インディペンデントスタディ(学習者論)
- インディペンデントスタディ(英語スキル論)
- インディペンデントスタディ(テスト/評価)
- インディペンデントスタディ(英語文法論)
- インディペンデントスタディ(音声言語教育論)
- インディペンデントスタディ(教授方法論)

2年次

博士課程前期課程

1年次

外国語教育学研究科【博士課程後期課程】カリキュラムツリー

● 必修科目 ● 選択必修科目 ● 選択科目

DP1 (知識・技能)
 外国語教育学の分野において、自立した研究者・高度専門職業人として必要とされる学際的知識・技能を深く掘り下げ、これらを統合的に活用することができる。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)
 高度な外国語運用能力と異文化理解力を身につけ、学問分野での卓越した知見を活用しながら「考動力」を発揮し、研究成果を国内外に広く発信して、社会に貢献できる。

DP3 (主体的な態度)
 研究者・高度専門職業人として関わる未解決の問題を主体的に観察・分析して、データに基づいた解決策を、高い職業倫理観をもって提案・実行することができる。

